

新年度にあたって

高井 睦美



2013年度は虹の会が産声をあげて丸10年、まさに節目の年です。

昨年末から今年にかけて若いスタッフ3名（男性1名、女性2名）が入職してくれました。

新任研修のあり方についてもいろいろ試行錯誤しながら、よりよい方法を検討し、虹の会の理念を継承してくれる人材育成に努めたいと思います。

財政面では登録者数が現在定員いっぱいまで推移しているのでうれしく思っています。ただ高齢の方が多いので、介護状況の変化があると予想しています。現場の状況は、退院後の方もようやく落ち着いてきて、「訪問」サービスも少しずつ適切な量になってきて、「通い」「泊り」のサービスをフル活用して“在宅生活の支援をする”という基本をしっかりと実施していけるよう、職員一同で情報の共有化をはかっています。

また、虹の会はこれまで中・長期計画をたてて実施してこなかったのですが、このたび税理士さんの指導を受けて5カ年計画を立案しました。

今後、この地域で虹の家及び虹の会がどんな役割を果たしていけばよいのかを考える指標として、広く住民の皆様の意見をいただきたいと思います。

虹の家の運営推進会議の中でも、湖北地区社会福祉協議会・新木近隣センターのまちづくり協議会・民生委員・新木野地区高齢者見守りネットワークなどの組織が単一ではなく、共同して地域の諸課題を考える必要が叫ばれています。これらの諸団体と共同して、この新木野地区で長く住み続けるためには何が必要かという意見を住民の皆さんから沢山出してもらって運動を提案したいと思います。そして、これらの意見を集約する中から、今できること、もう少し時間をかける必要があること、虹の家ができること、住民のボランティアで考えてみることなどに仕分けしていくと、この地域がもっと住みやすい所になるのではないのでしょうか！

長崎のグループホームでまた火災発生、4人死亡

宿谷 良子（防火管理者）

2月8日の火災事故をうけて、虹の家でもお泊りをしているので、防火体制の徹底が急務です。3月21日の虹の家運営推進会議でも話題になりましたが、夜間は夜勤者1名なので地域との連携が何よりも重要となっています。6月に夜間を想定した防火訓練を実施するために目下準備中です。地域の皆様のご協力をよろしくお願いします。

新任スタッフ紹介

氏名 駒崎 瑛美
出身 千葉県柏市
住所 我孫子市
生まれ 1989年

自己紹介

4月より虹の家の一員としてお世話になりました。

学生時代にたくさんの事を経験しましたが、中でも一番強く残るのがやはり震災です。我孫子市内でも多くの方が被災に遭われました。震災から一カ月半の5月に、宮城県石巻市にボランティアとして参加した経験は、たくさんの思いを感じてきました。

今年2月、初めて伊豆の河津桜を見に行きました。早い春を感じ、心がほっこりしました。市内の桜は先日満開になり、とてもきれいでしたね。桜を見て誰もが心穏やかに、私も虹の家で笑顔いっぱいになりたいと思います。

氏名 矢野 明日香
出身 千葉県市川市
住所 同上
生まれ 1989年

自己紹介

初めまして。平成生まれ23歳。

1月からご縁があり、介護職員として虹の家で働かせて頂いています。

私は約1時間ほどかけて虹の家に通っています。

成田線に乗っていると、毎日異なる風景が見られるような気がします。

それと、成田線の本数が増えたらいいなあーとおもいます……。

虹の家にまだ入って間もないのですが、沢山の事を覚えて、頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。